

## 「パートナーシップ構築宣言」を公表

～ 課題解決型金融の推進により中小企業の成長をサポート ～

大阪シティ信用金庫（本店 大阪市、理事長 高橋知史）は、中小企業の課題解決支援を積極的に推進するため、「パートナーシップ構築宣言」を公表しました。本宣言の公表は、関西の信用金庫では初めてとなります。

「パートナーシップ構築宣言」とは、コロナ禍における下請業者への取引条件のしわ寄せ防止や、サプライチェーン全体での付加価値向上等に取り組むため、経済界・労働界の代表および関係閣僚をメンバーとする「未来を拓くパートナーシップ構築推進会議」において創設された個別企業による自主的な宣言です。

当金庫は本宣言の趣旨に賛同するとともに、さまざまなパートナーシップを活用した課題解決型金融への取り組みを通じて中小企業の成長をサポートし、地域経済の発展と持続可能な社会の実現に貢献してまいります。

### 記

#### 1. 宣言日

令和3年3月24日（水）

#### 2. 宣言内容

別紙のとおり

公益財団法人全国中小企業振興機関協会が運営するポータルサイトに掲載されます。

#### 3. 宣言の主な項目

##### （1）企業間の連携支援

「シティ信金PLUS事業」を通じてお取引先や地域のサプライチェーンの付加価値向上を支援するとともに、外部機関との連携により、企業のすべてのライフステージにおけるトータルサポートに取り組み、お取引先の課題解決を通じてサプライチェーンの維持・向上を図る。

##### （2）人材確保支援

公的支援機関や提携企業と連携し、お取引先の人材不足や後継者不在等の課題解決を支援する。



パートナーシップ構築宣言ロゴマーク

以上



本件はSDGs（持続可能な開発目標）の考えに基づいた取り組みのうち、右記の目標に寄与するものです。



# 「パートナーシップ構築宣言」

当金庫は、サプライチェーンのお取引先の皆さまや価値創造を図る事業者の皆さまと連携し、共存共栄を進めることで、新たなパートナーシップを構築するため、以下の項目に重点的に取り組むことを宣言します。

## 1. サプライチェーン全体の共存共栄と規模・系列等を超えた新たな連携

直接のお取引先を通じて、その先のお取引先に働きかける（「Tier N」から「Tier N+1」へ）ことにより、サプライチェーン全体での付加価値向上に取り組むとともに、既存の取引関係や企業規模等を超えた連携により、お取引先との共存共栄の構築を目指します。その際、災害時等の事業継続や働き方改革の観点から、お取引先のテレワーク導入やBCP（事業継続計画）策定の助言等の支援も進めます。

（個別項目）

### a. 企業間の連携支援

お取引先の事業拡大の機会創出につながる支援事業を当金庫では「シティ信金PLUS事業」と総称し、お取引先と関西に本社を置く大手メーカー等とのビジネスマッチングを行う「販路拡大事業」、地元商店街の各種イベントの実施等を支援する「地域活性化事業（商店街PLUS事業）」等を展開し、お取引先や地域のサプライチェーンの付加価値向上に向けて、積極的に支援してまいります。

また、当金庫では地方公共団体、商工会議所、M&A専門会社、提携税理士等、さまざまな外部機関との連携により、創業・新分野進出支援、経営改善支援や事業承継・M&Aから相続対策まで、すべてのライフステージにおけるトータルサポートに取り組み、お取引先の課題解決を通じてサプライチェーンの維持・向上を図ってまいります。

### b. 人材確保支援

公益財団法人産業雇用安定センターや大阪府事業引継ぎ支援センターなど公的支援機関や提携企業と連携し、お取引先の人材不足や後継者不在等の課題解決支援を行ってまいります。

## 2. その他

当金庫は、お客さま（地域）・金庫・職員は三位一体で、この三者の相互扶助関係の上にお互いの発展と幸せを築いていくという経営理念「三者共栄」のもと、本業である総合金融サービスの提供のほか、地域社会とともに歩む信用金庫として、幅広い社会貢献活動に取り組んでいます。

当金庫は本宣言の趣旨に賛同するとともに、さまざまなパートナーシップを活用した課題解決型金融への取り組みを通じて、中小企業の成長をサポートし、地域経済の発展と持続可能な社会の実現に貢献してまいります。

これからも「信頼で地域とつながる」をスローガンに、地域社会の皆さまから信頼と評価をいただける信用金庫を目指し、文化、スポーツ、環境保全も含め、地域のサプライチェーンの共存共栄と規模・系列等を超えた新たな連携、価値創造に貢献してまいります。

2021年3月24日